

3 CBT*の主なメリット

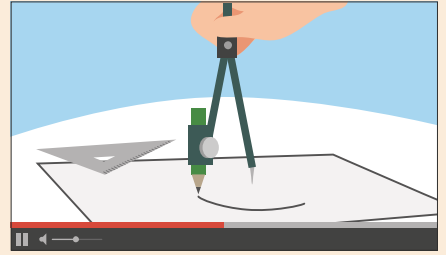
CBT*とは、「Computer Based Testing」の略で、タブレット端末等(1人1台端末)を使用して調査を行うものです。

動画を活用した問題など、実際の学習場面に即した出題が可能になるとともに、正誤の状況に加えて問題ごとの解答時間も記録・分析することが可能になるので、これまで以上にお子さんの学びの状況を細かく把握し、改善につなげることができます。

作図する様子や吹き出しで再現した会話等を動画で出題

算数 問1

右の動画を見て、問題に答えましょう。



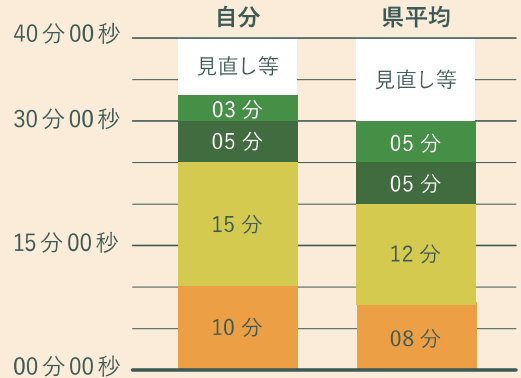
得意・不得意な領域等を把握

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算		
問題概要	小数と整数のたし算をする		
見直し回数	7	正誤	正
県正答率	45.2%		
かけた時間	5分12秒		
かけた時間 県平均	2分45秒		

領域等別のかけた時間

- ア：数と計算
- イ：図形
- ウ：測定
- エ：データの活用
- 見直し等



4 家庭での調査結果の活用法 「伸び」が見えると「意欲」が高まります！

一人一人が自分の成長を実感する！



よかったところや伸びたところをほめてあげてください。

やればできるんだ！

僕にはこんな力もあったんだ！

コバトン

自信と学習意欲の醸成につながります

一人でやってみたい！

もっとやってみたい！

STEP1

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握

調査では、「学習した内容がどれだけ身に付いているのか」がわかります。毎年調査を受けることで、「学力の伸び」も見ることができます。結果を見て、お子さんの現在の学力を知り、それをどれだけ伸ばしていくかということが大切です。学校の先生と話し合いながら、お子さんのよさを伸ばしましょう。

STEP2

一人一人のお子さんに合った「目標の設定」

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」をもとに、お子さんと一緒に具体的な目標を立てましょう。

STEP3

「家庭学習の習慣化」

目標に向けて学力を伸ばしていくためには、学校の授業の予習・復習を中心とした家庭学習を習慣化していく必要があります。家庭学習を習慣化するためには、お子さんの主体的に学習に取り組む態度を育むことが大切です。お子さんと一緒に家庭学習を習慣化するためのルール作りをしてみるとよいでしょう。

問い合わせ先

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 学力向上推進・学力調査担当
電話：048-830-6752 メール：a6750-01@pref.saitama.lg.jp